



日本ローザンヌ委員会主催 シンポジウム
「包括的な日本宣教を考える」
 2013～2015 シリーズ開催のご案内



ローザンヌ運動は1974年スイス・ローザンヌで開催された世界宣教会議において「ローザンヌ誓約（カベナント）」を発表し、キリストの福音をホーリスティック（包括的）に理解し提示することを提起しました。2010年南アフリカ・ケープタウンで開かれた第3回ローザンヌ世界宣教会議では、その現代的意義をさらに深め、今後10年に世界の教会が直面する宣教の課題を「ケープタウン決意表明（コミットメント）」として発表しました。そこには、包括的でバランスのとれた「信仰の告白」とともに、「私たちが仕える世のために」というテーマで、6項目にわたり実際的な行動への呼びかけが提示されています。

- A 多元的でグローバル化した世界において、キリストの福音を証しする
- B 分断され、損なわれた世界において、キリストの平和を築き上げる
- C 他の信仰を持つ人々の中でキリストの愛を生きる
- D 世界宣教のためにキリストのみこころを見分ける
- E キリストの教会を謙遜と誠実と質素へと呼び戻す
- F 宣教における一体性を目指す、キリストの体の内部における協力



これらの宣教課題は、ケープタウン会議の参加者が持ち帰り、それぞれの文化・社会の文脈に適用し活かしていくことが奨励されています。そこで、日本から同会議に参加した者たちによって構成される日本ローザンヌ委員会は、この6項目をテーマに概ね年2回のシリーズで、シンポジウムを2015年まで3年にわたり開催いたします。広く教団・教会・伝道諸団体の皆さまとともに、ラウンドテーブルを囲んでこれらの諸課題を話し合い、主から託された日本宣教の前進のために知恵を集め、共有していきたいと願っています。

くしくも3年後の2016年には、第6回日本伝道会議が開催されます。そこへ向けての準備期間とも言えるこの時期に有意義な話し合いを重ね、日本伝道会議のさらなる充実に繋げることができれば幸いです。趣旨をご理解下さり、貴団体から当シンポジウムへの参加代表をお送り下さいますよう、ご案内申し上げます。

■別紙の **第1回シンポジウム開催要項** をご覧いただき、参加ご登録ください。

主催 / 日本ローザンヌ委員会 <http://www.lausanne-japan.org/>
 協賛 / 日本福音同盟 (JEA) 宣教委員会、第6回日本伝道会議実行委員会
 関西ミッションリサーチセンター (KMRC)、
 東京ミッション研究所 (TMRI)、海外宣教連絡協力会 (JOMA)
 協力 / お茶の水クリスチャン・センター、クリスチャン新聞
 東日本大震災救援キリスト者連絡会 (DRCnet)